

神奈川県身体障害者連合会会報

身障かながわ

発行 公益財団法人神奈川県身体障害者連合会
 会長 戸井田 愛子
 〒221-0844
 横浜市神奈川区沢渡4-2
 電話 045-311-8736 FAX 045-316-6860
 編集 「身障かながわ」編集委員会
 編集委員長 新井修身
 印刷 内村印刷株式会社

- 第61回神奈川県身体障害者福祉大会……………①
- 第16回全国障害者スポーツ大会派遣選手決まる……………②
- 平塚市肢体障害者協会の活動(平塚市)……………③
- 潤水都市さがみはら(相模原市)……………③
- 富士登山報告……………④
- 第8回神奈川県障害者文化・芸術祭案内……………④
- さんぽみち(逗子市)……………⑤
- みんなの広場(小田原市)……………⑤
- 片マヒの視点から……………⑥
- 県身連事業予定(10月～1月)……………⑥
- 編集室から……………⑥



平成二十八年十月二日(日)、第六十一回神奈川県身体障害者福祉大会が、相模女子大学グリーンホールを会場に七〇〇余名の参加者が一同に会し盛大に開催されました。

式典では、県身連鈴木副会長の開会のことばで始まり、主催者を代表して県身連戸井田会長、神奈川県黒岩知事のあいさつの後、地元相模原市の加山市長から歓迎のことばをいただき、県知事及び県身連会長より、受賞者に対し表彰が行われました。

午後からは、相模原市民交響楽団による演奏が披露され、終わりに県身連渡邊副会長より閉会のことばを頂き、盛会のうち終了いたしました。

次回開催地は、海老名市です。

大会宣言

(前文省略)

- 一、私たちは、「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」の条約理念に基づく障害関連のあらゆる分野が着実に施行され障害者福祉の向上が図られるよう、働きかけていきます。
- 一、私たちは、障害者や障害関係団体の意見が十分に反映された差別禁止条例の制定に向けた取り組みが進められるよう、働きかけていきます。
- 一、私たちは、障害者の防災対策や避難所における対応など、災害時の障害者への支援体制の充実が図られるよう、働きかけていきます。
- 一、私たちは、いつでもどこでも安心して暮らせる地域社会を創造するために、関係者との連携を強めながら、自らの力を十分に発揮するよう努力します。

神奈川県知事表彰(敬称略)

○自立支援功労者

- 前田 孝男 (平塚市)
- 楠 敬子 (厚木市)
- 小久保恭子 (海老名市)

県身連会長表彰(敬称略)

○表彰

- 岩澤真知子 (横須賀市)
- 八代 義男 (相模原市)
- 藤田 健二 (秦野市)
- 開沼クミ子 (厚木市)
- 三尋木慶子 (厚木市)
- 屋敷 昌司 (大和市)

○感謝状

- 進藤みや子 (鎌倉市)
- 林 シズエ (鎌倉市)
- 小池のり子 (逗子市)
- 野地 武司 (横須賀市)
- 林 文代 (真鶴町)

第六十二回 神奈川県身体障害者福祉大会

期日 平成二十九年十月十五日(日)
 会場 海老名市文化会館 大ホール

第16回全国障害者スポーツ大会「2016希望郷いわて大会」派遣選手決まる!



《神奈川県派遣選手》

○身体障害者個人競技選手

【陸上競技】

名前(ヨミ)	市町村	区分
多美 美瑛(オオノ ヨシエ)	鎌倉	聴覚
佐々木啓介(ササキ ケイスケ)	藤沢	肢体
柏崎 嘉則(カシワザキ ヨシノリ)	横須賀	肢体
町田 和広(マチダ カズヒロ)	大和	視覚
小林 正一(コバヤシ マサカズ)	平塚	視覚
坂田 慎一(サカタ シンイチ)	厚木	視覚
戸部 千夏(トベ チナツ)	伊勢原	視覚
野口 英二(ノグチ エイジ)	伊勢原	肢体
高橋 光義(タカハシ ミツヨシ)	平塚	聴覚

【水泳競技】

森 一馬(モリ カスマ)	開成	肢体
前川 昌之(マエカワ マサユキ)	大和	肢体
佐々木知亜紀(ササキ チアキ)	真鶴	肢体

【卓球・STT】

田中 大貴(タナカ ヒロキ)	平塚	聴覚
辻村 琢光(ツジムラ タクミ)	南足柄	肢体
高橋 ミヤ(タカハシ ミヤ)	大和	視覚
落合三千男(オクアイ ミチオ)	大和	視覚

【アーチェリー】

石塚 孝志(イヅカ タカシ)	伊勢原	肢体
----------------	-----	----

【フライングディスク】

三富 六郎(ミミ ロクロー)	横須賀	肢体
南場 厚志(ナンバ アツシ)	秦野	肢体
結束すみ子(ケツコ スミコ)	伊勢原	聴覚
古谷 要(フルヤ カナメ)	秦野	肢体

○知的障害者個人競技選手

【陸上競技】

名前(ヨミ)	市町村
粟屋 尚貴(アワヤ ナオキ)	大和
梅若 舞(ウメワカ マイ)	小田原
鈴木 光(スズキ ヒカル)	小田原
才神 卓也(サイガミ タクヤ)	小田原
石川 祐奈(イシカワ ユイナ)	座間
岩澤 龍斗(イワザワ リュウト)	葉山
西岡 航(ニシオカ ワタル)	海老名
矢島 一也(ヤシマ カズヤ)	南足柄
柴田 竜太(シバタ リュウタ)	小田原
花田 海都(ハナタ カイト)	伊勢原

【水泳競技】

佐々木雅広(ササキ マサヒロ)	鎌倉
東亨 瞳(アヅマテイ ヒトミ)	湯河原
宮田 拓樹(ミヤタ ヒロキ)	座間

【卓球・STT】

米山 翔汰(ヨネヤマ ショウタ)	茅ヶ崎
井上 雄輔(イノウエ ユウスケ)	横須賀
佐々木昭寛(ササキ アキヒロ)	寒川

【フライングディスク】

山口 遼(ヤマグチ リョウ)	厚木
遠藤 海斗(エンドウ カイト)	秦野
森 秀樹(モリ ヒデキ)	横須賀
植松さやか(ウエマツ サヤカ)	茅ヶ崎

【ボウリング】

金野 樹(キンノ タツキ)	藤沢
伊藤 正男(イトウ マサオ)	開成
堀越よし子(ホリコシ ヨシコ)	伊勢原

《相模原市派遣選手》

【陸上競技】

名前(ヨミ)	市町村	区分
千葉 正弘(チバ マサヒロ)	相模原	肢体
中山 明義(ナカヤマ アキヨシ)	相模原	視覚

【水泳競技】

奥山 浩(オウヤマ ヒロシ)	相模原	肢体
----------------	-----	----

【卓球・STT】

堀口 正和(ホリグチ マサカズ)	相模原	聴覚
宇都木 茂(ウツキ シゲル)	相模原	視覚

【アーチェリー】

西村 芳健(ニシムラ ヨシタケ)	相模原	肢体
------------------	-----	----

【フライングディスク】

藤岡栄美子(フジオカ エミコ)	相模原	聴覚
上村江佐雄(ウエムラ エサオ)	相模原	肢体

【陸上競技】

名前(ヨミ)	市町村
田中 秀太(タナカ ショウタ)	相模原
島田 輝(シマダ ヒカル)	相模原
谷村 健登(タニムラ ケント)	相模原
尾崎 麻衣(オザキ マイ)	相模原

【水泳競技】

保田 純平(ヤスタ ジュンペイ)	相模原
清水 義斗(シミズ ヨシト)	相模原
吉田 美紅(ヨシダ ミク)	相模原

【卓球・STT】

西村 翔太(ニシムラ ショウタ)	相模原
------------------	-----

平塚市肢体障害者

協会の活動

平塚市 相原 貞雄

平塚市肢体障害者福祉協会（平肢協）は、昭和二十九年に設立され、今年で六十二年目を迎えます。この間で歴史を歩んでこられたことに對し諸先輩達のご尽力に感謝いたします。現在当協会の活動は、総務常任委員会等で内容を検討しながら進めております。歴代から引き続き行っている行事、新しく起こした行事等会員に無理なく参加でき、楽しんでもらえるよう努力しています。

市町村のページ

新しい企画の取組みとして、平成二十六年七月よりひらつか障がい者福祉シヨップ「ありがと」に参加しています。市内地域作業所、支援事業所、障害者団体等二十ヶ所以上が参加し、運営を盛上げています。福祉シヨップ「ありがと」は、障がいがある方へ就労訓練機会を提供することにより障がいの就労意欲を高め、自立した日常生活及び社会参加への支援を図るとともに、障がい者に対する理解を深めるために開設されました。平塚市庁舎本館の建設にあたり、障害者団体からの要望で

『庁舎内における障がいのある方の働く場の確保』が実現できました。福祉シヨップ「ありがと」でのふれあいの中で、障がいのある方が働くことに対して生きがいを感じ、また、市民の方の障がいに対する理解の芽が育つていくことを願っています。

○販売日時 開庁日（平日）の午前十時～午後三時

○実施場所 平塚市役所本館

一階東側多目的スペース内

でワゴン販売
当協会会員が心を込めて製作した作品の一例です。



アニメルストラップやおちゃん子人形、ベビータオル等かわいくて欲しいような作品を作っています。今年十一月、来年二月の毎週火曜日には販売員を担当します。平塚市役所に出掛ける機会がありましたら是非、声を掛けて下さい。

潤水都市さがみはら

相模原市 小林 登

平成二十二年に相模原市と城山町、津久井町、相模湖町、藤野町が合併して全国で十九番目に神奈川県では戦後初めての政令指定都市になりました。面積は三百二十八・八八四キロ平方メートルで人口は七十一万二千六百四人でした。現在では七十二万人を超えています。

緑区、中央区、南区の地域からなり、相模川の豊かな流れや道志川の清流、相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖などの首都圏の水ガメを有しており清らかな水、豊かな自然に恵まれ市民の心も潤い満ちております。

今年で政令市になり六年目を迎える行政は順調に進んでおりますが、例えば老人会、スポーツクラブ、障害者仲間など旧城山町、津久井町、相模湖町、藤野町など、それぞれの地域で活動しており統合が難しく、障害者スポーツ大会なども施設や場

所は完備されておりますが地形の関係もあり政令指定都市でありながら横浜市や川崎市の様に単独で出来ない状況にあり、現在は県と合同で開催している状態です。

相模原身体障害者連合会の活動としては、(イ) 賀詞交歓会、(ロ) 物品の販売、(ハ) 講師を招いての勉強会、(ニ) 春と秋の日帰り社会見学旅行、(ホ) お互いの作品展示会、(ヘ) クリスマスカラオケ会、(ト) 毎週月曜日にはフライングテ

ィスクの練習会を行っております。今後はさらに活動を広めて、県身連の行事には積極的に参加し、政令指定都市らしく単独でスポーツ大会が開催できるように行政にも働きかけて実現することを会員一同願っております。

【マスコットキャラクター】



さがみん

富士登山報告

県身連 城重 隼人

昨年は雨天により登山する事ができなかったが、今年には天候に恵まれ七月十四日(木)に開催しました。総勢百五十四名が参加し、バス四台で各場所に配車し集合場所である富士山世界遺産センターに向かいました。当日の朝は天気予報通りの曇り空でした。国道二四六号線走行中に雨が少しパラパラと降り注いできました。途中休憩ポイントの東名高速道路足柄サイブスエリアに到着した時には、空に雲は無くなり快晴になっており、太陽が照りつく中富士山世界遺産センターへ到着しました。 一号車(鎌倉・逗子・横須賀・三浦)、三号車(大和、海老名、秦野・中井・伊勢原・松田町)は集合時間通り十時に富士世界遺産センターへ到着しましたが、二号車(藤沢・茅ヶ崎・大磯・二宮・小田原)、五号車(相模原・愛川・厚木)の二台交通渋滞に遭い、五号車が十時二十三

事業案内・報告

分、二号車が十時四十五分に到着しました。全車到着後、開会式を行い終了後各バスに乗り富士山五合目へ出発。予定の時間より一時間遅れていた為、五合目到着後にすぐに登山を開始し、登山をさねなかった方々は五合目で時間を過ごしました。昼食は開会式にて各自十二時三十分を目安に摂るよう説明し満足しておりました。 十四時三十分五合目をあとにし、無事全てのスケジュールが終了しました。

文化芸術祭では、出演・出展者を募集しています。 出演・出展に関する問合せは、神奈川県障害者社会参加推進センターまでお願いします。 《推進センター事務局》 TEL 045-331-1874 FAX 045-331-6860 【申込期限】 平成二十八年 十月二十八日(金)まで

第八回神奈川県障害者文化・芸術祭

文化・芸術祭

今年度の文化・芸術祭は、十二月十日～十一日にかけて、小田原市民会館にて開催いたします。 この文化・芸術祭は、障害者が地域で活動している音楽・ダンスなどの発表と書道・写真・絵画・手芸などの展示をしています。日ごろから活動している障害者の文化活動の成果を発表する場として実施していますので、是非皆さんでお越しください。

【会場】

小田原市民会館 小ホール・展示室

小田原市本町一の五の十二 ※入場は無料です

【日時】

12/10(土) 展示室 十時から十六時

12/11(日) 展示室 十時から十五時 小ホール 十時から十五時

※展示室では作品展示。小ホールはダンスなどの発表を予定しています。



平成二十八年 十月二十八日(金)まで

「津久井やまゆり園」で発生した事件において、亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご家族の皆様には謹んでお悔やみを申し上げます。また、負傷された方々の一日も早い回復を心よりお祈り申し上げます。

さんぽみち

「よひこぞー逗子」

ハーフマイル・ビーチ

逗子市 長坂 祐司

三浦半島の西北端。北に鎌倉。南に葉山から横須賀へ相模湾沿いに続く。東に横浜市金沢区を挟んで東京湾を眺めます。海と山に囲まれて別荘・保養文化に育てられた「湘南のまち逗子」、海の景色を潮風に乘せて届けます。

季節は夏。逗子海岸への散策。私は肢体片マヒ障害者で退院時車椅子。今は歩行支援装具と杖での歩行ができるまでに。途中再発もありました。繰り返し襲うトラブルを「押し寄せる荒波」を打ち砕く海岸の如く押し返す。今年も夏を迎えられました。海岸入口に「ユニバーサル・トイレ」配置など、心とモノのバリアフリー、紹介するスポット「太陽の季節」の記念碑。逗子海岸（ハーフマイル・ビーチ）の真中から東、渚橋側にあります。毎夕方たくさんの方が集まる。そこから冬場に見られる富士方向を眺めれば、手前に

江ノ島、右手に披露山、左手先には「石原裕次郎三回忌に創られた「裕次郎灯台」があります。圧巻は日没。日が沈みカメラ好き大集合。水平線に沈む夕陽がまちを「あかね色」に変える大スペクタクルをとらえようと。

夕陽が逗子を包み込む頃、逗子まちの一日が終わります。四季折々の逗子海岸。

海は様々な様相を呈する耀く顔がたくさん。秋の海・冬の花・春の海。昼と夜に輝きが変わり、「荒天の海、風」。雨の日の海を、耀きを知る人は、意外に少ないのかもしれない。しかし、疲れた心と身体を解放したときには「逗子の海へ行こう！」何が待っているかは「あなたの笑顔」しだい。

【太陽の季節 記念碑】



みんなの広場

第二十回小田原市障害者

レクリエーション大会

小田原市 甘粕 明

今年度も七月十日（日）に「第二十回小田原市障害者レクリエーション大会」が特定非営利活動法人（肢体・聴覚・視覚・母の会・育成会）、小田原市障害者福祉協議会の主催で開催されました。参加者はボランティア団体を含めて約二二〇名が参加し、卓球・輪投げ・ダーツ等、十四種目を体育館で行い、ペタンク・FD・グラウンドゴルフ等、六種目をスポーツ広場にて行いました。全ての競技で順位をつけて表彰することはありません。各自自由にスタンプラリーでカードにシールを貼り付けて楽しみます。また、今回も競技前に楽しいアトラクションの「ミュージック・クラウン みま」さんのアコーディオンとオペラの Aria で世にも珍しい歌劇な喜劇のパントマイムを会場参加型で行い、大きな歓声が起るほど今年も大変盛り上がった大

会となりました。レクリエーション大会は例年十月に行いますが、今回は地震対策の工事の為に開催が早まり七月となりましたので終わる頃には体中から汗が噴き出しました。この大会は肢体障害者だけでなく、五団体から障害の違う者同士が一堂に集まり色々な意見要望が発信出来る場所だと思しますので、是非これからも継続してスポーツに親しんで欲しいです。

今回のレクリエーション大会は第二十回と節目の年であり、記念大会です。主催者の特定非営利活動法人、小田原市障害者福祉協議会から最後に抽選会が行われました。発表する度に大きな歓声がおこり、豪華な景品が渡されました。この大会も各ボランティア団体様の協力がなければ出来ないことで、感謝しております。これからも若い世代に繋げる活動に向かって障害者が楽しく参加できる様な企画・行事を行いたいと思っています。

県身連事業予定

- <10月>
 - 2日(日) 第61回県福祉大会 (相模女子大グリーンホール)
 - 8日(土) 全国スポーツ大会強化練習会 (麻溝公園競技場ほか)
 - 13日(木) 肢体部役員会(県社会福祉会館)
 - 16日(日) 視力部会青年部・スポーツ部共催ハイキング (江の島周辺)
 - 22日(土) 第16回全国障害者スポーツ大会(岩手県) ~24日(月)
- <11月>
 - 3日(木) 肢体部歩行訓練(よこはま動物園)
 - 13日(日) 視力部会女性部学習会(平塚市民会館)
 - 14日(月) 肢体部会研修会(伊豆潮風館) ~15日(火)
 - 19日(土)・26日(土) 障害者スポーツサポーター養成講習会 (横須賀アリーナ)
 - 20日(日) IT講習会「ブレイルメモスマート」操作説明会 (神奈川ライトハウス)
 - 25日(金) 県精神障害者スポーツ大会バレーボール競技会 (海老名運動公園総合体育館)
 - 27日(日) 視力部会職業部研修会(未定)
- <12月>
 - 3日(土)・4日(日) 障害者スポーツサポーター養成講習会 (横浜市西スポーツセンター)
 - 10日(土) 障害者文化・芸術祭(小田原市民会館)
 - ~11日(日)
 - 18日(日) 肢体青年部クリスマスの集い(藤沢市民会館)
 - 21日(水) 県精神障害者スポーツ大会ボウリング競技会 (湘南とうきゅうボウル)
 - 23日(金) 青年部主催ボウリング大会 (厚木ブラザボウル)
- <1月>
 - 20日(金) 県精神障害者スポーツ大会卓球競技会 (寒川総合体育館)
 - 21日(土)・29日(日) 障害者スポーツサポーター養成講習会 (秋葉台文化体育館)
 - 26日(木) 肢体女性部研修会及び女性部長会議 (藤沢市民会館)

※問い合わせ 電話：045-311-8736
045-311-8744
[推進センター]
FAX：045-316-6860

<http://kanagawa-kenshinren.or.jp/>



この会報は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

右側片マヒと右中指破損
障害の視点から

肢体部 相原 みどり

私は右中指破損障害になり二十年、それと右側片マヒになり十年目に突入しました。右中指破損障害は仕事での事故で三度の手術をしましたが治らず第二関節五ミリ上を切断し、今は指を動かすことができません。右側片マヒは、前主人のDVで脳内出血になり、二日間意識不明で目が覚めた時には目が霞み、何も見えず顔が判らず声だけが聞こえ、話す事も出来ず、身体全体が動かず、左手甲には点滴、何が起きているのか解らずパニック

になり声も身体も自分でなくなっていました。三ヶ月間のリハビリで話す事と身体を動かすことが出来るようになりましたが、車椅子と杖の生活になりました。倒れる前の五年間の記憶が消えてしまい、前主人にDVをされたことも解りませんでした。退院後は手すり杖の生活、障害があるのに炊事、洗濯、掃除をやれと言われ、動かない身体にムチを打ち二階に洗濯物を干し、食事作りに掃除と一日中家事をこなしました。障害者に対して理解のない夫とは離婚が成立し籠の中の鳥から自由になり、実家に戻りとても幸せでした。

実家に戻り五年前の障害者福祉協会の会長と出会い、第五回障害者スポーツ大会の車椅子五十メートル走に参加してみたらと言われ、運動オンチな私が出場したら、なんと大会新記録を出し金メダルを頂きビックリしました。それから続けてスポーツ大会に参加し、第八回大会でまたもや大会新記録を出し長崎がんばらば大会に参加。金メダル二個獲得してきました。今現在はシニアカーに乗り行動範囲が広がり、町・県の事業に参加するようになり、今は若葉マークなので先輩方には迷惑かけていますが、色々と教えていただき活動しています。充実していて最高です。平成二十八年四月から障害者差別解消法が施行されました。健常者も障害者も同じ人間、バリアフリーで過ごしやすい時代にしましょう。

少しずつでも無理せず一歩ずつ歩んで行きます。フアイト。最後に、DVは絶対にしてはダメです。一人の人生がスガ崩壊します。

編集室から



【長崎大会にて】

昨年四月から「身障かながわ」の編集に携わっています。私自身は肢体障害ですが、他の障害についてもある程度理解していた積りですが、知識や現状等の認識不足を痛感しています。障害者が何に困ったり、悩んだりしているかを理解して頂くことが大切です。大きなことも小さな話題も伝えられたら良いのではないかと考えています。

四月に障害者差別解消法が施行されましたが、相模原の施設での事件、駅での転落事故、これらのことを考えると物心両面においてバリアフリーはまだまだで、一層の啓発活動の必要を感じています。

編集委員 鈴木 英雄 (横須賀市)